

TOYOBO NOW

第160期 中間報告書

2017年4月 1日

2017年9月30日

TOPICS

- F3ドライバー 三浦 愛選手とのスポンサー契約を締結
- 「TRAIN SUITE 四季島」のマットレス素材に
三次元スプリング構造体「ブレスエアーエクストラ®」採用
- 世界最高レベルの寸法安定性を持つ高耐熱フィルムを事業化
— 長瀬産業株式会社と合併会社を設立 —
- インドネシアにパッケージングフィルム生産合併会社を設立

F3ドライバー 三浦 愛選手とのスポンサー契約を締結

当社は、全日本F3選手権女性ドライバー三浦 愛選手とのスポンサー契約を締結しました。当社のフィルム状導電素材「COCOMI®」を使った生体情報計測用ウェア「スマートセンシングウェア®」を提供します。

三浦選手は、2017年9月現在、女性で唯一、全日本F3選手権に参戦しているドライバーです。また、全日本F3選手権で日本人女性として初めて優勝した選手で、今後も大きな活躍が期待されます。

(中面参照)



三浦 愛選手



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、世界経済においては、米国ではハリケーンの影響は限定的で底堅い成長が続きましたが、中国では民間の設備投資が鈍化し、景気はゆるやかに減速しました。また、ユーロ圏では個人消費が堅調で、景気はゆるやかに拡大しました。一方、国内においては、企業活動が持ち直し、雇用環境も改善するなか、景気はゆるやかな回復が続きました。

このような環境のもと、当社グループは、「環境、ヘルスケア、高機能で、社会に貢献する価値を、創りつづけるカテゴリー・リーダー」をめざし、特長のある製品を、国内外の市場へ展開して

います。当期間においても、2017年度までの4年間の中期計画で掲げた「海外展開の加速」、「新製品の拡大・新事業の創出」、「国内事業の競争力強化」、「資産効率の改善」、「グローバル経営機能の強化」の5つのアクションプランに沿って、事業活動を進めました。

「海外展開の加速」においては、透明蒸着フィルム「エコシアル®」の拡販に向けて、インドネシアにパッケージングフィルム生産の合併会社を設立することを決めました。また、エアバッグ用基布事業では、当連結会計年度後半からの拡大に向けて、海外生産拠点での増産体制を整えました。

「新製品の拡大・新事業の創出」では、電子ペーパーディスプレイなどに使われる高耐熱性ポリイミドフィルム「ゼノマックス®」の事業化に向けて、合併会社を設立することを決めました。また、液晶偏光子保護フィルムとして展開する「コスモシャイン SRF®」は、大手偏光板メーカーを中心に拡販を進めました。さらに神経再生誘導チューブ「ナーブリッジ®」については、国内での適用症例数を着実に伸ばしました。

以上の結果、当期間の売上高は前年同期比33億円(2.0%)減の1,614億円となり、営業利益は同2億円(1.5%)減の105億円、経常利益は同3億円(3.8%)増の91億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同24億円(65.3%)増の60億円となりました。

通期業績につきましては、全体としては概ね計画どおりに推移していますが、前回発表予想時に比べ、営業外費用の増加が見込まれることなどから経常利益を見直すとともに、第3四半期に本社ビルの信託受益権譲渡に伴う固定資産売却益を特別利益に計上する予定であることを踏まえ、売上高3,400億円(前期比105億円増)、

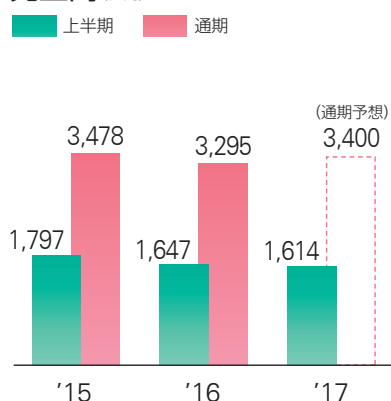
代表取締役社長

楠原誠慈

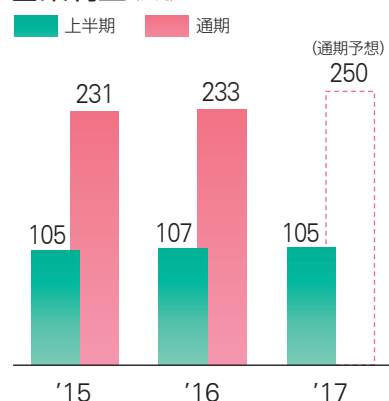


業績ハイライト

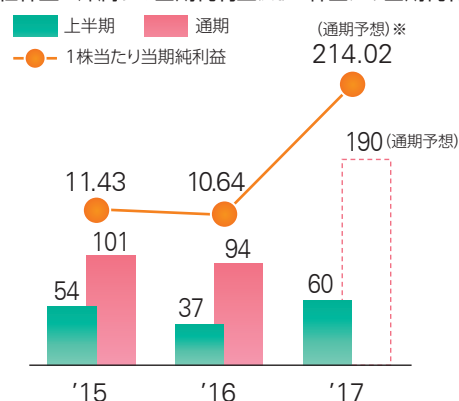
売上高 (億円)



営業利益 (億円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)・1株当たり当期純利益 (円)



※2017年10月1日をもって、10株を1株の割合で株式併合を行っています。

営業利益250億円(同17億円増)、経常利益220億円(同13億円増)、親会社株主に帰属する当期純利益190億円(同96億円増)を予想しています。

株主のみなさまへの利益還元は、企業にとって最重要事項の一つと認識しています。剰余金の配当の決定に関しては、持続性のある利益水準、将来投資のための内部留保、財務体質の改善などを勘案しつつ、安定的な配当の継続を基本方針としております。

中間配当につきましては見送らせていただくこととしましたが、当期間の決算が概ね計画どおりに推移していることから現時点における期末配当予想を1株当たり5円増配し、1株当たり40円とすることとしました。* 今後も上記方針を踏まえ、検討を続けてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※2017年10月1日をもって、10株を1株の割合で株式併合を行っています。

F3ドライバー 三浦 愛選手との スポンサー契約を締結

スポンサー契約においては、搭乗車両等へのロゴマーク表示に加え、「COCOMI®」を使った「スマートセンシングウェア®」の提供を行います。基礎トレーニングやレース走行時に着用し、心拍などのモニタリングを行うことで、フィジカル・メンタル両面の能力向上に活用します。今回のスポンサー契約によって、モーターレースという過酷な環境下における「COCOMI®」や「スマートセンシングウェア®」の性能をテストし、今後のさらなる高性能化につなげていきます。



三浦 愛選手に提供する「スマートセンシングウェア®」



搭乗車両とTOYOBOロゴ

「TRAIN SUITE 四季島」のマットレス素材に 三次元スプリング構造体「ブレスエアーエクストラ®」採用

2017年5月に運行を開始した、東日本旅客鉄道株式会社(本社:東京都渋谷区)の「TRAIN SUITE 四季島」全客室に、フランスベッド株式会社(本社:東京都新宿区、以下フランスベッド)のマットレスが採用されました。このマットレスには、当社とフランスベッドが共同開発した三次元スプリング構造体「ブレスエアーエクストラ®」が使用されています。

「TRAIN SUITE 四季島」に採用されたマットレスは、フランスベッドが展開する「高密度連続スプリングマットレス」に「ブレスエアーエクストラ®」を組み合わせた「TRAIN SUITE 四季島」独自の仕様です。「ブレスエアーエクストラ®」は、当社の三次元スプリング構造体「ブレスエアー®」の持つ優れた通気性、体圧分散性、耐久性に加え、適度な硬さとしなやかさを併せ持っており、快適な鉄道の旅をサポートします。

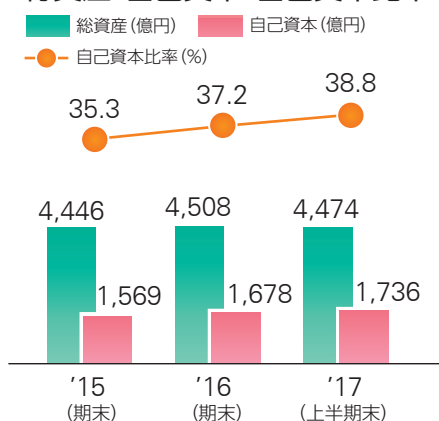


TRAIN SUITE 四季島 客室 写真提供: JR東日本

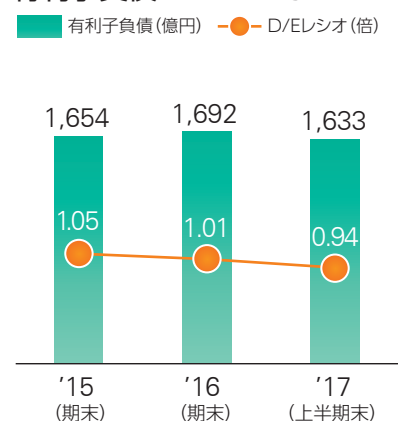


TRAIN SUITE 四季島 写真提供: JR東日本

総資産・自己資本・自己資本比率



有利子負債・D/Eレシオ





事業別業績の概要



Films & Functional Polymers

フィルム・機能樹脂事業

フィルム事業では、包装用フィルムは、原料価格の影響を受け苦戦しました。一方、工業用フィルムは、「コスモシャイン SRF®」や電子部品関連の特化フィルムを軸に販売を伸ばしました。

機能樹脂事業では、エンジニアリングプラスチックは、国内の自動車用途が好調に推移し、工業用接着剤「バイロン®」は、電子材料用途を中心に販売を伸ばしました。また、光機能材料は、海外での拡販が好調に推移しました。

売上高

731億円

5.9%増
(前年同期比)

営業利益

64億円



Industrial Materials

産業マテリアル事業

スーパー繊維では、「ツヌーガ®」および「イザナス®」は堅調に推移しましたが、「ザイロン®」の販売が伸び悩みました。

生活・産業資材では、バグフィルター用PPS繊維「プロコン®」が回復傾向にあり、販売を伸ばしました。

売上高

305億円

5.5%増
(前年同期比)

営業利益

22億円



Healthcare

ヘルスケア事業

バイオ・メディカル事業では、診断薬用酵素、ライフサイエンス用試薬は国内外で販売を伸ばしましたが、医薬品製造受託事業が苦戦しました。

機能膜・環境事業では、VOC処理装置がアジア向けに好調に推移しましたが、医用膜の販売が伸び悩みました。

売上高

163億円

9.3%減
(前年同期比)

営業利益

17億円



Textiles & Trading

繊維・商事事業

ユニフォーム用途は堅調に推移しましたが、スポーツ衣料製品の一部および中東向け特化生地の販売が苦戦しました。

また、前第3四半期連結会計期間からのブラジルにおける繊維事業の休止の影響もあり、大幅な減収となりました。

売上高

338億円

15.2%減
(前年同期比)

営業利益

△2億円



Others

不動産事業／その他事業

不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等のインフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

売上高

77億円

13.5%減
(前年同期比)

営業利益

15億円

※当期より、報告セグメントの区分を変更しておりますので、前年同期比増減率は、変更後の事業区分に組み替えた売上高に基づき算出しております。

(営業利益 消去 全社△12億円)

四半期連結貸借対照表の要旨 (単位:百万円)

科 目	当上半期末 (2017年9月30日現在)	前期末 (2017年3月31日現在)	科 目	当上半期末 (2017年9月30日現在)	前期末 (2017年3月31日現在)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	189,033	196,293	流 動 負 債	118,317	136,865
固 定 資 産	258,373	254,497	固 定 負 債	151,894	143,016
有 形 固 定 資 産	209,700	207,906	負 債 合 計	270,211	279,880
無 形 固 定 資 産	4,193	4,186	純 資 産 の 部		
投 資 そ の 他 の 資 産	44,480	42,406	株 主 資 本	132,694	129,495
資 産 合 計	447,406	450,790	その他の包括利益累計額	40,892	38,278
			非 支 配 株 主 持 分	3,609	3,137
			純 資 産 合 計	177,195	170,910
			負 債 ・ 純 資 産 合 計	447,406	450,790



TOPICS

世界最高レベルの 寸法安定性を持つ 高耐熱フィルムを事業化

ー長瀬産業株式会社と合併会社を設立ー



「ゼノマックス®」生産工場 完成予想図

当社は、高耐熱性ポリイミドフィルム「ゼノマックス®」の事業化に向け、長瀬産業株式会社（本社：東京都中央区）と合併で、生産・販売会社（払込資本金34億円、当社66.6%出資）を2018年度に設立します。

「ゼノマックス®」は、ポリマーフィルムでありながら高熱をかけても寸法がほとんど変化せず、無機材料のガラスやセラミックスに近い寸法安定性を実現しています。新会社では、この特長を生かして、電子ペーパーや有機ELなどのディスプレイや各種センサーの薄膜トランジスタ基板材料として展開していきます。「ゼノマックス®」を使えば、ディスプレイやセンサーが軽く、薄く、フレキシブルになることが期待できます。



「ゼノマックス®」(左)を使用したフレキシブルディスプレイ(右)

インドネシアに パッケージングフィルム 生産合併会社を設立



調印式の様子

当社は、透明蒸着フィルム「エコシール®」およびパッケージ用ポリエステルフィルムの製造販売について、インドネシアのフィルムメーカー、PT. TRIAS SENTOSA, Tbk社（本社：インドネシア、以下TRIAS）と合併で新会社2社を設立します。

新会社2社のうち、PT. TOYOBO TRIAS ECOSYAR（資本金1,500万ドル、当社60%出資）が「エコシール®」を生産し、PT. TRIAS TOYOBO ASTRIA（資本金1,520万ドル、当社40%出資）がパッケージ用ポリエステルフィルムを生産します。両社は、2019年度に営業を開始する予定です。



「エコシール®」を使用した食品パッケージ

エコシール®とは

「エコシール®」は、2種類のセラミックスを蒸発させて、ナイロンやポリエステルフィルムにコーティングすることで高いバリア性を付与したフィルムです。

特長

- 高いガスバリア性と防湿性
- ガスバリア性と柔軟性を両立
- 塩素化合物を含まず環境に優しい

四半期連結損益計算書の要旨 (単位:百万円)

科 目	当上半期累計 (自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日)
売上高	161,400
売上原価	122,537
売上総利益	38,863
販売費及び一般管理費	28,358
営業利益	10,506
営業外収益	1,140
営業外費用	2,568
経常利益	9,078
特別利益	604
特別損失	1,935
税金等調整前四半期純利益	7,747
法人税等	1,726
四半期純利益	6,020
非支配株主に帰属する四半期純損失	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,047

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (単位:百万円)

科 目	当上半期累計 (自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,789
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,587
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,494
現金及び現金同等物に係る換算差額	312
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 6,979
現金及び現金同等物の期首残高	32,179
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	211
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	9
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,420

(記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。)



会社の概要・株式の状況

(2017年9月30日現在)

社 名	東洋紡株式会社
英 文 社 名	TOYOBO CO., LTD.
証 券 コー ド	3101
創 立	1882年(明治15年)5月3日
設 立	1914年(大正3年)6月26日
資 本 金	51,730,003,166円
本 社	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号 (代表 06-6348-3111)
東 京 支 社	東京都中央区京橋一丁目17番10号
名 古 屋 支 社	名古屋市西区市場木町390番地
従 業 員 数	連結 9,553名 単体 3,041名

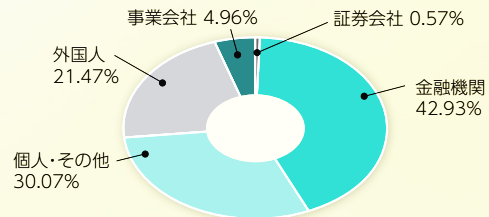
役員

代表取締役会長	坂 元 龍 三
代表取締役社長	社長執行役員 樫 原 誠 慈
代表取締役	専務執行役員 香 山 和 正
取 締 役	常務執行役員 種 田 祐 士
取 締 役	常務執行役員 渡 邊 賢 之
取 締 役	常務執行役員 佐 藤 博 之
取 締 役	常務執行役員 竹 中 茂 夫
取 締 役	※1 岡 中 村 勝
取 締 役	※1 中 村 勝
監 査 役 (常 勤)	西 中 久 雄
監 査 役 (常 勤)	永 田 種 昭
監 査 役	※2 竹 中 史 郎
監 査 役	※2 杉 本 宏 之

※1 取締役のうち岡 豪敏氏および中村 勝氏は社外取締役です。
※2 監査役のうち竹中史郎氏および杉本宏之氏は社外監査役です。

発行可能株式総数	2,000,000,000株
発行済株式の総数	890,487,922株 (自己株式2,719,002株含む)
株 主 数	65,013名

株式分布の状況(所有者別)



大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	70,589	7.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	69,455	7.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	23,650	2.66
全国共済農業協同組合連合会	23,200	2.61
日本生命保険相互会社	17,508	1.97
東 友 会	17,324	1.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	14,616	1.65
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS-UNITED KINGDOM	14,482	1.63
東 洋 紡 従 業 員 持 株 会	14,357	1.62
明 治 安 田 生 命 保 険 相 互 会 社	14,029	1.58

※持株比率は、自己株式(2,719,002株)を控除して計算しています。

関係会社

	国 内	海 外	計
連 結 子 会 社	29	26	55
持分法適用会社	4	4	8
計	33	30	63



株主メモ

事 業 年 度	4月1日から翌年3月31日まで (期末の配当金受領株主確定日 3月31日)
定時株主総会	6月に開催します。
基 準 日	定時株主総会の基準日は3月31日です。 その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。
単 元 株 式 数	100株 当社は、2017年10月1日をもって、単元株式数を 1,000株から100株に変更しました。
公告掲載ホームページアドレス	http://www.toyobo.co.jp 電子公告による公告ができない場合、日本経済新聞 に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および
全国各支店で行っています。

各種手続のお申出先

- 住所変更、名義変更、配当金の受け取り方法のご指定、
単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

区 分	お申出先
証券会社でお取引をされている株主さま	株主さまの口座のある証券会社
特別口座(証券会社に口座のない)の 株主さま	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (上記、電話照会先をご参照ください。)

未払配当金の支払について

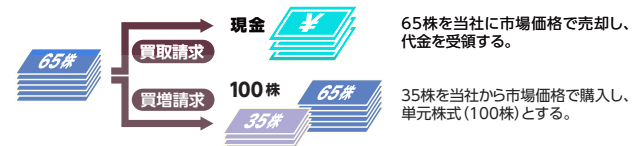
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

単元未満株式(1~99株)をお持ちの方へ

単元未満株式をお持ちの場合、当社に対して、次の請求を行うことにより、
売却または100株におまとめいただくことができます。ぜひ、以下の制度
をご利用ください。

買取 制度	単元未満株式の 買取を請求する。	買増 制度	単元株式(100株)に するため、不足する株数の 株式の売り渡しを請求する。
------------------	---------------------	------------------	--

(例)当社株式65株をお持ちの場合



お手続方法につきましては、上記のお申出先へお問合せください。